

中国株ウィークリーレポート

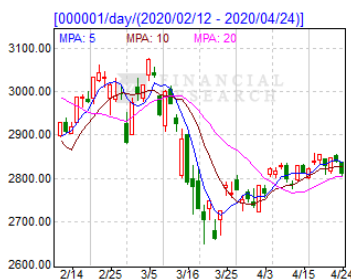
2020/4/27

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	23,775.27	260.01	1.11	-1.93	-16.69	28,538.44
NASDAQ	8,634.52	139.77	1.65	-0.18	-3.77	8,972.60
日経225	19,262.00	-167.44	-0.86	-3.19	-18.58	23,656.62
上海総合	2,808.53	-29.97	-1.06	-1.06	-7.92	3,050.12
滬深300(CSI300)	3,796.97	-32.78	-0.86	-1.11	-7.31	4,096.58
ハンセン	23,831.33	-145.99	-0.61	-2.25	-15.46	28,189.75
中国企業	9,656.19	-47.80	-0.49	-1.62	-13.54	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.3%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は1.1%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.3%安と3週ぶりに反落。原油先物相場が史上初のマイナスとなり、改めて世界的な景気後退が意識された。NYダウ先物の上昇などを背景に買われる場面もみられたが総じて上値は重く、本土市場の下落や上場企業の四半期業績の悪化なども相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%安と3週ぶりに反落。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続くなか、原油先物相場の暴落でリスク回避姿勢が強まる一方、中国政府による景気対策への期待が相場を支えた。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、経済指標の発表などに注目

香港市場は一進一退の展開か。今週の30日から連休入りのため3日間の取引となるが、主要国の金融政策決定会合や経済指標の発表など大きなイベントが続く。結果次第で相場が大きく動く可能性はあるが、悪材料が出ても景気対策への期待がある程度相場を下支えしそうだ。一方で連休前にはリスク回避姿勢が強まる可能性もある。本土市場は堅調な展開か。29日までの日程で全人代常務会議が開かれ、延期となっている全人代の日程が決まる見通し。全人代の日程が決まれば本格的な景気対策への期待が高まりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 CNOOC(00883)	8.51	1.43
2 恒安国際集団(01044)	66.95	1.29
3 冚仔・モバイル(00941)	61.05	1.24
4 万洲国際(00288)	7.62	0.93
5 信和置業(00083)	10.54	0.57
6 電能実業(00006)	51.35	0.10
7 中国旺旺(00151)	5.63	0.00
8 中電控股(00002)	81.40	-0.12
9 中国海外発展(00688)	26.10	-0.19
10 冚仔・コム(00762)	4.97	-0.60

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 申洲国際集団(02313)	87.05	-7.25
2 太古A(00019)	49.00	-6.58
3 中国中信(00267)	7.40	-6.45
4 九龍倉置業地産(01997)	29.45	-5.91
5 新鴻基地産(00016)	102.60	-5.79
6 舜宇光学科技(02382)	106.50	-5.75
7 Link REIT(00823)	66.50	-5.54
8 長江ソフ(01038)	45.30	-5.13
9 石業集団(01093)	15.56	-5.12
10 長江和記実業(00001)	55.25	-4.91

▼今週の主なイベント

- 4月30日(木)
- 【香港】仏誕節で休場
- 【中国】製造業PMI(4月)
- 5月1日(金)
- 【香港】メーデーで休場
- 【中国】メーデーで休場

▼今週の期待材料

- ◆日米欧の中央銀行による金融政策会合が相次いで開催される、金融緩和への期待が高まれば相場の追い風に
- ◆26-29日に全人代常務会議が開催される、延期されている全国人民代表大会の日程が発表される見通し
- ◆新型コロナによる中国の新規死者数が15日以降ゼロに、早期収束への期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆香港市場で30日から4連休、連休中のリスクを避けるため慎重姿勢が強まる可能性も
- ◆上場企業の1-3月期決算の発表がピークに、新型コロナの影響で多くの企業で業績悪化の見通し
- ◆原油相場下落で関連企業に大きな損失、シェール企業などの倒産が相次げば信用不安に発展する可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ BYD (01211) : 中国政府が新エネ車の補助金支給を22年まで延長
- ☆ 中国工商銀行 (01398) : 28日に1-3月期決算を発表、市場予想は3%増益
- ☆ 中国交通建設 (01800) : 1-3月の新規受注が12%増加、インフラ建設は15%増
- ★ 江蘇高速道路 (00177) : 20年6月中間決算は通行料徴収停止で大幅減益の見通し
- ★ シノペック (00386) : 28日に1-3月期決算を発表、市場予想は約74億元の赤字
- ★ 中聯重科 (01157) : 29日に1-3月期決算を発表、市場予想は22%減益
- ★ IMAXチャイナ (01970) : 1-3月期決算は新型コロナ直撃で赤字転落の見通し
- ★ 九龍倉置業地産 (01997) : 20年6月中間決算は市況悪化で赤字転落の見通し
- ★ 長城汽車 (02333) : 1-3月期決算は新型コロナによる販売減で赤字転落
- ★ 中国銀行 (03988) : 原油相場連動の金融商品で投資家に巨額損失、訴訟リスクも

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。